

キッズみんなの日記

7月号

★「理由十気持ち」で豊かに表現する★

おばあちゃんの家

今年はずいぶん降る梅雨らしい雨が少ないように感じます。じめじめしていて曇鬱になるのに、その季節らしい雨が降らないと、それはそれで物足りないような、拍子抜けしたような不思議な感覚を覚えます。みなさんが待ちわびる楽しい夏休みが始まる頃には、曇天続きの梅雨も明け、夏本番のスタートですね。

色々なことに目標を持って取り組み、充実した夏休みにしたいですね。思いきり遊び、梨セミで真剣に学び、素敵な夏休みになるよう願っています。

みなさんの素敵な思い出の一つになること間違いなしの高原教室は7日土曜切となります。

参加ご希望でお申込がまだの方はお急ぎください。

優秀作品紹介

★五感を働かせていきいきと書く★

ずこう

きょうぼくは、ずこうで、にじいろのしまをやりました。ぼくのしまは、七いろのしまです。

ぼくがかいたえにさわってみたら、ざらざらしたりきざきざしたりしていました。

からすがしまのついでにえをかきました。

(小二・NTくん)

綺麗な七色の島の上で黒いガラスが映えるでしょうね。T君は描いた絵に触ってみた感想を上手に表現しましたね。五感を働かせ、生き生きとした文章に仕上がりました。

わたしは、おばあちゃんの家に行きました。その日は、ほうじの日でした。人がいっぱいきました。七回目でした。お母さんとおばあちゃんがないていました。わたしは、お母さんに、「なんでないているの。」「思い出すとかなしくなるの。」「言っていました。おわたたら、みんなでごはんを食べました。」



さいこの帰る日におばあちゃんが「ほうじにきてくれてありがとう。」「言っていました。」

はんかち二まいと、じゆうちようをくれました。うれしかったです。

(小三・KMさん)

出来事、回りの人の様子をとても印象的に表現していますね。Yちゃんとの会話や、お母さんやおばあちゃんの涙から、亡き人の思いがとてもよく伝わってきます！

くつを買ってもらった

今日は、市川のコルトンプラザの中にあるABCマートでくつを買ってもらいました。

さいしょ、しゅんそくにしようとおもったけど、MAOHGTのくつにしました。色は、赤と青です。

青と赤の色がすきなで、そのくつを買ってもらってうれしかったです。



青と赤の新しいピカピカの靴、格好良いでしょうね。T君は、靴のどこが気に入っているのかをきちんと理由を説明することで、嬉しさを上手に強調しています。

(小三・FT君)

スカイツリーに行った

きょうあさ早くに車をはっしゃしてからでんしゃにのりました。

スカイツリーについていたら、すぐに入れました。さいしょエレベーターの一番上に行きました。

じっくり見てから下のてんぼうだいに歩きました。ガラスばりのゆかに歩きました。わたしが、「おりようよ。」「二度と来れないよ。」「言われたので、また見たらおりて登ごはんを食べました。楽しかったです。」



(小三・Hさん)

Hちゃん、話題のスポーツスカイツリー（行けて羨ましい！地上六百メートル、ガラス張りの床から下のぞいたら、足がすくみそうですね。セリフを使って、怖さを上手に表現できました！

紙しばいや



五月三十日(水)に、キラリ公園で紙しばいをやるのでいってみました。なぜ行ったかという、「五年に一回のチャンス」と書いてあったからです。

いったら、すぐ行列ができていてすごいなあと思いました。紙しばいをやっているとき少しおもしろかったです。

さいごに、三百円はらっておかしをもら

いました。

五年に一回なら、次はわたしが十五オの時というので、行ってよかったなと思いました。

(小四・WRさん)

Rちゃん、貴重な体験をしましたね。三百円でおかしでもらえ、紙芝居には映画やテレビとはまた違った良さがあっていいですね。行列ができるのも領けます。理由や人気ぶりをとても上手に説明できました。

父の日

今日、ぼくは買い物に行って、父の日のプレゼントをしました。

お父さんはワインがすきなでぼくはワインをプレゼントしました。お父さんが好きそうなワインを買いました。

その日の夜にワインをお父さんにプレゼントしました。お父さんはとてもよろこんでいました。来年の父の日もワインをプレゼントしたいです。



(小四・SM君)

お父さんの好きなワインを真剣に選ぶM君の顔が浮かぶようですね。おとうさんへの思いがとてもよく伝わってきて、こちらまで温かい気持ちにさせられる日記でした。

★説明や描写を工夫して生き生きと★

めだか



(かわいい。)

と思いましたが。

今日、やっと来る予定のめだかが来ました。理科でめだかを観察します。昨日も理科をやりました。オスとメス

の見分け方です。はんにんに、めだかがくばられますが、オスとメスを育てて、たまごを産ませるので、オスとメスを見分けて水そうに入れなくてはならないからです。

かんたんに見分けられたので、すぐ水そうに入れられました。背びれに切れ目があり、尾ひれのはばがひろいのがオスで、背びれに切れ目がなく、尾ひれが前から後ろに向かつてはばがせまくなっているのがメスです。

たまごを産むのかな？と楽しみです。これから、いつまで育てるのかというのが心配です。大切に育てていきたいです。

(小五・UMさん)

小さなめだかの赤ちゃんが誕生するのが待ち遠しいですね。Mちゃんの説明は実に理路整然として素晴らしい！心の中のセリフで始まる印象的な書き出しも見習いたいですね。

自然教室

私は、朝早く起きて、友だちと車で行ききました。その理由は学校で二泊三日の自然教室があったからです。

そして、どこへ行ったかというと、新潟の南魚沼市というお米がおいしい所です。本当においしかったです。

私たちが、泊まったところは、自然が豊かな場所です。米は雪解け水を使って作っているそうです。さわつたら手がぎんぎんになるほど冷たかったです。

最初着いた日は、川に行ったり、ナイトウォークというものをやったりして遊びま



した。かわでは、足をつけて石の橋を造っていました。少し、私も石を運んで手伝いました。そして、くつしたをはいていたので、少し冷たいのが和らぎました。その夜に、ナイトウォークをやり、私は、こわくて泣いてしまいました。もう、ナイトウォークはやりたくないです。

(小五・TYさん)

Yちゃんの説明で魚沼産のお米が美味しい理由がよくわかりますね。水の冷たさも五感を動かせる生き生きと表現し、自然教室での印象的な場面を上手に切り取って書きました。

そら豆

友だちのおじいちゃんが育てた「そら豆」をもらいました。早速茹でることにして、

私がさやをむく担当になりました。

そら豆のさやはおおきけれど、中身は三個くらいしか入っていませんでした。うちには、「そら豆くんのベッド」という

絵本があります。その本の通り、さやの内側はふわふわで、そら豆くんが「宝物」と言うのがよくわかりました。

ゆでたてのそら豆はすごくおいしくて、あつという間になくなってしまいました。

ねる前にお母さんが「そら豆くんのベッド」を読んでくれました。何回読んでも、やっぱり優しい気持ちになる本です。

(小五・KYさん)

新鮮なそら豆、ゆでたては格別に美味しいですね。Yちゃんは、今日の出来事「そら豆」から絵本へ上手に話題を広げています。みなさんも是非、参考にしてみましょう！

じゆく

六月七日の木曜日にじゆくに行きました。じゆくで先生に怒られました。

それは、私が日記をわすれたからです。一回二回じゃなくて、何回もわすれたので先生におこられました。

「じゆくの宿題をやらなかったら、帰れ。」

と言われました。私は悲しかったし、みんなの前で言われたので、はずかしかったです。もうどうしたらいいかわからない。もう、じゆくに行きたくない、と思いましたが、

「自分のすべきことをしないと悪い結果になるよ。」

とお母さんと話しました。

先生が家までむかえに来てくれました。とても気まずかったです。とても反省しています。じゆくでは、先生は私にやさしく教えてくれました。じゆくにいきたくないなんて、なんでおもったんだろう、と自分でも思いました。

家に帰ったらお母さんに「怒ってくれるのは、自分のことを思ってくれているからだよ。どうでもいい人には怒れないのよ。」

と言われました。先生にも親にもおこられてショックだったけど、今日のごは忘れないようにしようと思いました。

これからは、きょうのようなことがないように、自分のことは自分でやる。そして、やるべきことは、すぐやるようにしたいと思いました。

(小五・Hさん)

Hちゃん、よく考えましたね。「恥ずかしさ」「戸惑い」「決意」と悩みながら答えにたどりつくまでの感情の変化を見事に表現しています。その後の日記も素晴らしいですよ。

六年生になって初めてのプール

今日、六年生のプール開きが一・二時間目にありました。

一時間目は、体そうで、もぐったり、流れるプールや前にいる人に水をかけたり色々やりました。

二時間目は、三組にわかれるために、プールテストみたいに二十五メートル泳げるかやりました。もう少しで、息がで

きなくなりそうなところで二十五メートル泳げました。

次に、三組にわかれて練習しました。そのあとに休み時間で、みんながプールおにをしました。

ひさしぶりのプールだったからすごく気持ちいいし、楽しかったです。

(小六・Y君)

プール開きの日の様子を順序よく説明できましたね。Y君が苦しいのを我慢して一生懸命二十五メートルを泳ぎ切った様子をとても上手に表現できました。お見事！

伊藤先生のおすすめ本



★低学年★
からすのパンやさん 備成社
かこさとし 著

カラスの町「いずみがもり」にある1軒の売れないパン屋さん。お父さん、お母さん、4型の子ガラスみんな楽しい形のパンをどっさり焼きました。そして、パンを買いにきたお客さんで森は大騒ぎに……

★★中学年★★

雨、あめ 評論社

ヒーター スピア 作・絵

レインコートを着て雨の降る庭へ飛び出していき喜び、クモの巣に光る雨のしずく。水たまりに広がる波紋。雨の日の新鮮な世界を描いた字の無い絵本。

★★★★高学年★★★★

百枚のドレス 岩波少年文庫
エレノエスティス 著/ルイスロポドキン イラスト

いつも同じ服を着ているワンダが「あたし、ドレスを100枚持っている」と言っても、だれも信じてませんでした…。どんなところでも、どんな人にも起こりうる差別の問題を難しい言葉を使わずに描いたアメリカの名作。

